

第 19 回北東アジア港湾局長会議

(11 月 13 日 (火) 9:00-17:00 日本・静岡市、日本平ホテル)

出席者

- 日本 (国土交通省港湾局技術参事官 浅輪 宇充をはじめ 10 名)
- 中国 (交通運輸部水運局副局長 柳 鵬 (Liu Peng) をはじめ 6 名)
- 韓国 (海洋水産部釜山地方海洋水産庁長 李 哲朝 (Lee Cheoljo) をはじめ 9 名)

主要議事

(ア) 「港湾の中長期政策」をテーマとした情報交換

発表者：日本) 国土交通省港湾局技術参事官 浅輪 宇充

「港湾の中長期政策「PORT2030」」

中国) 交通運輸部水運局副局長 柳 鵬

「Medium and Long-term Policies of Chinese Ports」

韓国) 海洋水産部釜山地方海洋水産庁長 李 哲朝

「Port Policy of Korea」

(イ) 共同調査、研究の報告

作業部会で取り組んでいる以下の 3 つの共同調査 (本会議が最終報告) について、作業部会を代表して、国土交通省港湾局 久田国際企画室長が成果報告を行いました。

- ・コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の調査 (主務：韓国)
- ・日中韓における港湾法制度の比較調査 (主務：中国)
- ・北東アジアにおける港のにぎわいづくり (主務：日本)

また、三か国の研究所が共同で行っている以下の研究について進捗報告がなされました。

- ・環境に配慮した港湾管理のためのガイドライン (日本・中国・韓国共同)

(ウ) 次期共同調査

次期共同調査として、以下の 3 つのテーマに取り組むことを確認しました。

- ・北東アジアにおけるスマートポートの実現戦略 (主務：韓国)
- ・港湾の高度化と統合的発展 (主務：中国)
- ・航路・泊地の維持管理 (主務：日本)

(エ) 開催地プレゼンテーション

田辺 信宏 静岡市長より「静岡市の国際海洋文化都市づくり」と題した発表が行われました。

議事録署名

上記内容について三国間で議事録に署名しました。

今後の予定

来年、第 20 回北東アジア港湾局長会議を韓国で開催する予定です。

第19回北東アジア港湾局長会議（11月13日開催）



（左から中国柳水運局副局長、日本浅輪技術参事官、韓国李釜山地方海洋水産庁長）



（議長を務める浅輪技術参事官）



（プレゼンテーションされる田辺静岡市長）